

参考3

【県内開催競技のルールや見どころ】

【レスリング】

幕張メッセAホール 8/2~8/8 (7日間)



マット上にある直径9mのサークル内で、2人の競技者が、素手で攻防する競技。タックルや投げ技、両者が伏せた状態で攻防を行う。「グレコローマンスタイル」は、上半身のみで攻防を行い、「フリースタイル」は、全身のどこを攻めてもよい。

ダイナミックな技が見られるグレコローマンと、スピード感あふれるフリースタイル。人類最古の格闘技ともいわれており、体ひとつで戦う中での、パワー、スピード、テクニックの激突が魅力。

【テコンドー】

幕張メッセAホール 7/25~7/28 (4日間)



韓国の国技であり、2000年のシドニーオリンピックから正式種目として実施されている。手と足を使って攻撃をすることができるが、足を使った攻撃が特徴的な競技。攻撃が有効か無効かは、防具に付けた電子センサーが機械的に判定する。

前蹴り、横蹴り、回し蹴り、後ろ回し蹴りなど、華麗でダイナミックな蹴り技の応酬が魅力。

【フェンシング】

幕張メッセBホール 7/25~8/2 (9日間)



ピストと呼ばれる長方形の試合場の中で2人が互いに向き合い、武器(剣)を用いて攻撃または防御を行うスポーツ。使用する武器(剣)と防具には電気回路が埋め込まれており、攻撃が成功するとランプが点灯する。「フルーレ」、「エペ」、「サーブル」の3種目がある。

駆け引きとテクニックを駆使した精度の高い攻防。一瞬で勝負が決まる緊迫感が魅力。

【サーフィン】

釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ 7/26~8/2 (うち4日間)



制限時間内で同時に複数の選手が対戦し、勝敗を決定する。良い波を見極め、難易度の高いターンやエアリアル(空中に舞い上がる技)を繰り出すことで高得点を獲得することができる。

水面を自由に滑るスピード感と、海という大自然の中で繰り出されるダイナミックな技が、サーフィンの魅力。東京2020大会で、オリンピック史上初めて正式種目になる。